

# 薬学

保健福祉部 薬務課

令和6年度採用

## わたしを表すKEYWORD

### # 食べもの

果物に代表されるように、福島県にはいろいろな名産品があります。食べることが好きなので、休日などに各地に赴き名産品巡りもしています。

### # ドライブ

外出が好きなので、マイカーに乗って、アウトドア施設（ゴルフ場、キャンプ場）、温泉によく行っています。福島県は地域ごとの特色が広く、山から海まで様々な表情を見せてくれるので存分に運転を楽しめます。

### # スポーツ観戦

### # 旅行

### # ゴルフ

私は

福島の豊かな自然、

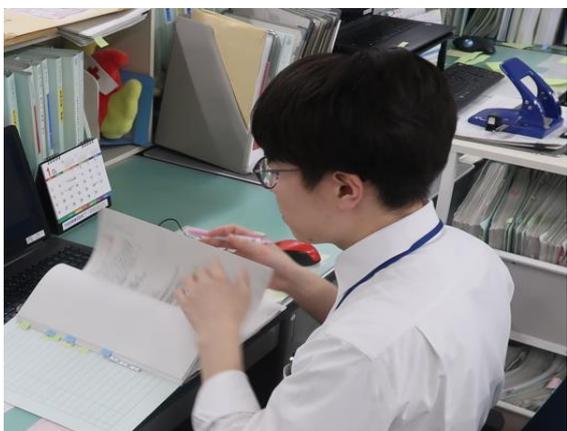
が好き！



## 県民の笑顔と健康を守る薬剤師に！

県内における献血の推進・啓発、県内の血液製剤使用適正化など血液関係の仕事を主にしています。具体的には、中学生を対象にジュニア献血ポスターコンクールを開催したり、医療従事者を対象とした講習会などを行っています。

若年層の献血協力者が減少している中、どのようにすれば献血に足を運んでもらえるのか考え、活動していくことにやりがいを感じています。



## 県職員を目指した理由

行政薬剤師として、これまで学んできた幅広い知識を広く使えることに魅力を感じ、大学の就職説明会に参加したことがきっかけです。先輩方の説明を聞き、多くの県民の皆様の健康を守り、生まれ育った福島県で地域貢献をしたいと考え志望しました。

## 職場の雰囲気について

同じ職種の先輩方が多くいるので、困ったとき、失敗した際にも丁寧に業務についてアドバイスをもらえます。また、勤務先の本庁の雰囲気は、執務室全体で一致団結し、同じ方向を向いて取り組んでいるので非常に一体感があります。

## とある一日のスケジュール

- 8:30 始業  
メールチェック
- 9:00 問い合わせ対応
- 10:00 市町村献血担当者会議
- 12:00 昼休み
- 13:00 医療従事者免許の事務手続き
- 15:00 各種照会・会議の資料作成
- 17:15 終業

## 新採用職員研修・サポート職員制度の感想



新採用職員研修では、3～4日間、同世代の仲間たちと寝食を共にすることで、同期の間での堅い繋がりを育むことができ、交流の輪を大きくすることができます。研修後も、プライベートで交流できる仲間ができるので、精神的な支えにもなっています。

また、サポート職員制度により業務で困った時、第一に身近に相談する先輩がいるという心の支えがあり安心感を得られました。

## この1年間で、印象に残った経験

この1年を通して、多くの関係者との調整が必要な職種であると感じました。たとえば、大学教授、医療関係者、事業者、県民の皆様と日々密に連絡を取り合いながら業務を進めています。

こうした経験の中で、相手の視点に立って物事を考え、行政関係者として求められている期待に応えることへの大切さを感じたのが印象に残っています。



↑表彰式の打ち合わせをする様子

## 福島県職員として実現したいこと、目標としていること

献血では、輸血などに使われる血液を、県民の皆様の善意により提供していただいています。そのため、継続的に献血に協力していただくには、県民の皆様の御理解が欠かせません。

現在、若年層の献血協力者が減少している中で、県職員として、より多くの学生や若い方に献血を知ってもらえる、将来足を運んでもらえるようにすることを目標としています。